

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30
例会場：大分市府内町トキハ会館4F
友好クラブ：RI第3490地区 基隆東南扶輪社
姉妹クラブ：RI第3860地区 セブポートセンターロータリークラブ

TEL 097-532-0611 URL : <http://www.oita-minami-rc.jp>
FAX 097-532-8386 E-mail : oitaminamirc@mist.ocn.ne.jp

2024-2025年度

国際ロータリーテーマ

RI会長 ステファニーA・アーチック

RI第2720地区スローガン
ガバナー 三村彰吾

The Magic of Rotary

寛容な心で、ロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう

大分南ロータリークラブスローガン
会長 長尾淳子
幹事 倉園晴義

一人一人が愛と、四つのテストを胸に、
家族に、世界に、ピースフルな日々を

本日のプログラム（4月25日）

開会宣言（点鐘） 12:30
ロータリーソング斉唱 「四つのテスト」
ゲスト・ビジターの紹介 高井 道晴 副会長
会長の時間 高井 道晴 副会長
幹事報告 岩川 義枝 副幹事
出席報告 佐賀関 和男 出席委員長
委員会報告 担当委員長
ニコボックス 林 新太郎 親睦委員長
〈今週のお祝い〉

結婚記念日 實崎 佑一 会員 4月26日
内林 高德 会員 4月30日
首藤 浩 会員 5月8日

パートナー誕生日

三股 正幸 会員 紫夫人 4月30日
後藤 頼彦 会員 初美夫人 5月2日
野中 俊秀 会員 一恵夫人 5月5日

会員誕生日 尾崎 宏次 会員 4月28日

ロータリーソング 【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

***** 本日の例会 *****

第2136回 2025年 4月25日(金) 12:30～
中島 拓会員の卓話

***** 今後のプログラム *****

※ 5月2日(金) 休会

第2137回 2025年 5月9日(金) 12:30～
児玉憲明会員の卓話

第2138回 2025年 5月16日(金) 12:30～
内林・阿南会員の卓話

第2139回 2025年 5月23日(金) 18:30～
夜の例会

第2140回 2025年 5月30日(金) 12:30～
クラブ協議会「今年度を振り返り」

※ 6月6日(金) 休会

第2140回 2025年 6月13日(金) 12:30～
クラブ協議会「次年度奉仕計画の発表」

出席報告 2025年4月18日(金)

会員総数	出席会員	出席率	ゲスト	ビジター
43	24	56	1	0

バナーの由来。山は、たたなわる霊山の山並み、静謐な環境の学園の杜。川は、清澄大分川、生新発刺たるベッドタウンの未来図。藤は、聖域西寒多神社の藤棚で、室町時代より御神酒をつくって奉納していた、由緒ある契りのシンボルです。

第2134回の例会

会長の時間

長尾 淳子会長

七十二侯 鴻雁北 こうがんきたへかえる
秋に日本にきた雁が、シベリアへ帰る頃

「ユーミンと 14 番目の月」

ラッセ・リヒトネン著 平凡社
著者 ラッセ・リヒトネン
フィンランドの日本音楽研究者
東大、東京藝術大学客員研究員

このまえがきでは、著者は 詩人 谷川俊太郎
の（音楽ふたたび）を引用しています

いつかどこかで

時空を超えて その音がいまも

大気をふるわせ ぼくの耳を愛撫する

音楽と人の心が 出会うことによって生じる意
味やエモーショナルな反応を、谷川ほど鋭く探求
した詩人はいないだろう といっています。

そんな著者が上梓したこの本

ユーミンの荒井由実時代最後のアルバム
(1976 年リリース)

70年代シティーポップが2020年代に再燃、フィ
ンランドでも成功したジャンルの代表的なアルバ
ムに特化したものです。

タイトルトラック

♪14 番目の月♪

ある女性が車のシートに腰かけて、自分の想
い人、つまりハンドルをにぎる男性の気持ちが
わからない事にいらだちを感じている。彼に告
白をしたらどうなるのだろう。そんな問がうか
んで彼女の鼓動は早くなる。

けれども彼女は不安を感じたりせず、それど
ころか、今、この瞬間の感覚に没頭する。

結局のところこの瞬間は将来への無限の可能性
を秘めた約束を手に行っている極めて特別な時点な
のだから一完成したらむなしくなってしまうー

♪つぎの夜から欠ける満月より14番目の月が

いちばんすき♪

♪さざ波♪

関係の終わりを考える事が現在の状況を好ま
しく思う彼女の決意をさらに強めている

♪愛が終わるのを確かめずに

ひとりここへ来てよかったの

愛が終わるのをつくろったら

明日を生きるのに遅れたわ♪

♪天気雨♪

ヒロインのボーイフレンドが1人で茅ヶ崎に
サーフィンに行ってしまう。彼女は電車に乗って、
海にいる彼のもとへ来た。海まで来たことについ
て「じゃまになる」と 表面的には思っているが。

♪やさしくなくていいよ クールなまま

近くにいて♪

明日は十四夜。

何かが完成する直前の期待に胸を膨らませる瞬
間。皆さまも、あす、夜空を見上げてみてくださ
いね。

幹 事 報 告 〈 4 月 18 日 〉

1. 4月25日(金)・26日(土)で熊本市会館
にて「地区大会」が開催されます。
26日(土)本会議は9時30分より受付の開会
は10時30分からとなっております。登録者は
利光・三宮・坂元・長尾・野中・三股・倉橋・
児玉・倉園・井上・岩川・林・衛藤・阿南・
高井・古本・渋谷 各会員 17名
2. 先日お願いしております、家庭集会の日程、
場所につきまして決定したグループは事務局
までお知らせください。
3. 来週4月25日(金)は通常例会となりますの
でお間違いないようご参加を宜しくお願い
いたします。

ニコボックス 〈4月11日〉

實崎 佑一会員（2口）

長尾会長・倉園幹事が「補助金プロジェクト」の提案や「新会員レクチャー」など、新会員の方に向けた催しを行なっています。

入会5年未満の会員の方は、地区大会などには是非ご参加下さい。

2口いたします。

ニコボックス〈4月18日〉

野中 俊秀会員（5口）

ルパさん、1年間お疲れ様です。お誕生日おめでとうで5口

地区研修協議会報告

会長部会

報告者：倉園 晴義

藤田ガバナーエレクトから次年度の方針の説明の後、会長の仕事と、会長になるまでの準備などの説明を受けた。

その後、地区毎に分かれ大分第四グループで行事の確認、現状の問題点などについて意見を交換した。

幹事部会

報告者：古庄 三千男

幹事の責務（役割）

- ・地区研修・協議会と地区大会に出席する
- ・前任の幹事からクラブの記録を受け取る
- ・次期役員や理事会メンバーと密に連絡を取り合い、次年度の計画を立てる。

週の仕事

【例会前】

- ・クラブ事務局からの例会変更情報及びゲスト・ビジター情報を出席委員長に報告。
- ・郵便物やメール等を各担当者並びに理事役員へ送付

【例会時】

- ・幹事報告
- ・副幹事とタイムスケジュールの確認及び今週のお祝いのチェック

【例会後】

- ・週報原稿の確認と校正
- ・ビジター来訪の場合は、該当する事務局へ報告
- ・支払伝票のチェック&サインをして会計に渡す

月の仕事

- ・理事役員会の議題の打ち合わせ・決定、資料作成、招集、参加
- ・理事役員会議事録を確認の上、週報に入校並びに理事役員に送付
- ・出席委員会と連動し人数の増減をガバナー事務所へ報告（毎月月末まで）
- ・自クラブの例会変更を県内全クラブに報告
- ・米山奨学生がいる場合は、奨学金（会計に言って事前準備）の授与（一週目）
- ・ガバナー月信の配布（回覧）、あるいは幹事報告にて周知
- ・ロータリーの友の配布を公共イメージ委員会に確認（一週目）
- ・ガバナー事務所及びロータリー事務局からの連絡の周知（パストガバナー・理事役員・地区委員へメールにて通知）

年の仕事

【就任前の役割】

- ・次年度運営の準備（次年度委員会の構成・予算・プログラム・活動方針・活動計画書の策定と作成）
- ・次年度理事役員会へ案内（議題等は会長と相談）
- ・次年度理事役員会の出席（副幹事作成の議事録を確認の上、週報に掲載依頼）
- ・地区研修・協議会への出席確認と登録・出席
- ・自クラブが所属するグループの会長幹事会への出席

【就任中の役割】

- ・地区資金関係並びに R 財団、米山奨学会寄付金の送金（会費徴収分）をクラブ会計に依頼
- ・半期報告（活動実施状況・半期決算報告・人頭分担金・RI）MTROTARY より
- ・自クラブが所属するグループの会長・幹事会（

要請があれば)へ出席

- ・クラブ会員証・名札の作成
- ・ガバナー公式訪問に際しての報告書資料作成
- ・年会費の請求書送付(7月・1月)と入金確認
- ・次年度幹事への引き継ぎと申し送り

管 理 運 営 部 会

報告者：林 新太郎

活動方針(部門テーマ)

「会員ひとりひとりの顔を思い浮かべて～心をつなぐ・きずなの強化～」

1. 地区戦略計画および DEI に基づく、クラブ運営をサポート
2. クラブ戦略計画の立案サポート
3. 出前セミナーのための部門委員のスキル強化
4. 今年は3年に1度の規定審議会が開催されるので、10月23日に開催される報告会を運営する

活動目標

- (1) クラブの土台作りを推進するため、クラブ定款の理解と過去3回にわたる規定審議会での決定事項について、クラブの細則への反映方法等について説明。さらに、会員の客観的評価とラーニング支援および、地区目標の My Rotary 登録率 75% を目指して、積極的に My Rotary の活用及び登録推進を行う。
- (2) クラブ活性化と各クラブの奉仕活動の指針を立てるための支援を行う。さらに国際ロータリーの考え方について、新しく加わった点を中心に説明を施すことによりロータリーに関する知識の充実を図る。

< 意見交換会 >

- ・クラブ奉仕の意義は、ロータリアンが奉仕活動に専念できるように、会員をサポートする。
- ・My Rotary の意義は、ロータリーの今を伝える役割です。
- ・親睦委員の重要な役割は、欠席しがちな会員を含めて、積極的に話しかけることです。
- ・奉仕と親睦がロータリーの両輪。ロータリーの原動力は親睦です(ポール・ハリス)

< 出前セミナー(時間 30 分) テーマ >

1. 定款の理解
2. My Rotary の活用(当クラブ現状 47.5%)
3. 戦略計画立案の支援

4. 会員オリエンテーション

会 員 増 強 部 会

報告者：倉橋 芳英

1 協議会概要

日 時：2025年4月6日(日) 午後1時30分
～午後3時

場 所：ホルトホール大分 408 会議室

担当者：部門長 奥村 誠基

(熊本西南ロータリークラブ)

アドバイザー 大森克磨

(大分キャピタルロータリークラブ)

2 会員増強目標

2,500 名(現在：2,355 名)

⇒1 クラブあたり 2 名の純増

3 会員増強の必要性

①組織の維持

地区会員の平均年齢は約 68 歳

⇒組織の存続のためには会員増強が必須。

②時代の変化への対応

⇒時代に合わせて組織として柔軟に変化していくために、若い世代の会員増強が必要

③組織の理念を守り継承していく

ブレてはいけない組織の理念や品格を守り、継承していくために、現会員の維持が必要

④有意義な団体であるために

以下のような活動を行える有意義な団体であるためには、会員の増強が必要

- ・活発な奉仕渴望
- ・職業分類の充実
- ・組織のスケールを活かした事業の実施
- ・国際的な活動の実施 など

4 会員増強のポイント

①会員増強委員長の頑張りだけで成果を出すことは困難。

⇒まずは、クラブ全体に、会員増強の火を焚べる。

②現会員の維持

⇒新規入会を増やすためのベースは、現会員の維持にある。

③新入会員のフォロー

⇒新入会員がすぐに友人を誘いたくなるよう、新入会員をフォローする。

④リストの共有

⇒入会候補者のリストを共有し、重複している候補者に入会を勧誘する。

→複数の知り合いに勧誘された方が入会しやすい。

⑤クラブの雰囲気を良くする。

- ・会員同士が仲が良いか。
- ・会員に品格はあるか。
- ・有意義な事業をしているか。 など

⑥ロータリーのメリットを明確に語れるか。

- ・年齢差、世代を超えた人間関係ができる。
- ・グローバルな友人ができる。
- ・品格やアイデアなどを学べる。
- ・たくさんの専門家がいる団体
- ・社員教育や奉仕活動に社員が参加する機会がある。 など

5 会員数増加以外の会員拡大の目的

クラブの力を高めるためには、職業分類を充実させることが重要。

6 出前セミナー

- ・依頼があれば、会員増強部会のメンバーが 30 分の出前セミナーを行ってくれる。
- ・依頼は、地区事務所宛てに行う。

以 上

公 共 イ メ ー ジ 部 会

報告者：利光 宏一

公共イメージ部門の協議会に参加してまいりました。

藤田年度の公共イメージ部門の現段階の方針をご報告します。

公共イメージ向上に向けた取り組み

オールドメディア（新聞・テレビ・雑誌等）の活用

1. プレスリリースを作成・配布し、イベントや活動内容を積極的に報じてもらう。
2. 取材依頼やメディア対応体制を整備し、認知度アップを図る。

ニューメディア（SNS 等）の活用

1. Instagram や Facebook など、若い世代を含む幅広い層にアプローチできる媒体を選定。

2. 活動報告やイベントの様様を写真・動画で発信し、ロータリーへの興味喚起を促す。

イベント時のアンケート実施

1. 一般参加者にアンケートを行い、満足度や認知経路を調査。
2. 分析結果を広報戦略や次のイベントに反映し、効果を高める。

これら 3 点を柱として、より多くの方にロータリーの魅力を届け、活動への理解・参加を促進していく方針です。

また、9月のポリオ撲滅支援イベントでは、カラオケ大会を通じて 1 曲歌うごとに 1,000 円を寄付する方式を検討中とのことです。次年度会長にヤングマンを歌っていただき、楽しみながら募金に参加できる企画として、広く参加を呼びかけていく予定です。

職業奉仕部会

報告者：宮永 尚

★職業倫理とは

社会の一員として自分の最高の義務

人間の理想と業績を向上させる必要がある

自分を磨いて、奉仕に徹すべき

野心と自覚しつつも正義と道徳に基づく成功を求める

全当事者が利益をうけるようにすべき（売り手よし、買い手よし、世間よし）

職業の水準を向上させて利益を産み、同業の模範となること

アフターサービスは利益を度外視してでもおこなうべし

最大の資産は友人である

友情によって手に入れたものは倫理的かつ正当である

利益のために友人の信用を利用しない

不正な方法による成功は正当ではないし倫理的なものでない

ロータリーの真髄は協力である（競争ではない）

人権尊重の理想を世の中に広める使命がある

自分がしてもらいたいことを人に対して行う

根本は愛である

■ロータリー通解

真のロータリアンは、例会に出席し、例会で学び、自分を高めて、ロータリーの理想を広める人である

■決議 23-24

ロータリーとは、自己の利益と他人への奉仕を調和する人生哲学

クラブ奉仕は会員の訓練を目時として企画された実験例である

■4つのテスト

職業奉仕を学ぶとは「経営を学ぶ」ことと同じである。

- ①ロータリアンの使命は自己を磨くことであり、磨いて他人に奉仕することである。
そしてそれは自己の商売を栄えさせることになる。(利益と奉仕の調和)
- ②ロータリーの例会は人生の道場であり、例会における切磋琢磨が必要であり重要である。

ロータリアンが職業奉仕で各自の「真摯さ」を磨き合い、職業奉仕がロータリアンの金看板として輝きを増しますように。

「シェルドンの理念」

- ①よく他人のために尽くす事
- ②サービスが大きくなれば大きくなるほど利益は大きい
- ③最も奉仕する者、最も多く報いられる
ロータリーのスローガン → 職業奉仕の誕生

ロータリアンはロータリーから各種の職業分類に派遣された代表 ガイ・ガンディカー

クラブで行う職業奉仕として
外来卓話を行いましょう

- ・職場訪問例会
- ・会員企業・職場の「社訓」「社是」の発表会
- ・RLI 方式（ロータリーリーダーシップ研究会）によるディスカッション
- ・地区職業奉仕部門による出前セミナー

青少年を対象とした職業支援プログラム

社会貢献表彰および活動支援
会員企業の社員表彰
出前授業・講座・シンポジウムの実施および講演
地区職業奉仕部門によって開催される「職業奉仕セミナー」にクラブ会員こぞって出席しましょう

■ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機

会とすること

- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン1人1人が個人として、また事業および社会において、日々奉仕の信念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

青少年奉仕部門

報告者：井上 誠

・青少年交換プログラムの推進

日本と海外の高校生を相互に受け入れるプログラムで、青少年が異文化を学び、グローバルな人材を育成することを目的とする。

・こども屋台の開催（2026年地区大会5月23日開催）

こども屋台とは小学生が料理の企画を行い、仕入れから調理、販売まで行うイベント

・全国 RYLA 研究会の開催（2026 年 4 月）

14～30歳の若い世代を対象とした短期集中型の指導者育成プログラムである。

2720 地区では本年9月13、14、15日に高校生 RYLA セミナーを行う

・危機管理の周知徹底

ここでいう危機とは青少年（インターアクトや奨学生など）へのハラスメント

各クラブにて危機管理委員会の設置の必要性
具体的な行動規範はロータリー章典に記載
事案が発生した場合は迅速な対応が必要
対応によってはクラブの存続に関わる

国際奉仕部門

報告者：長尾 淳子

1. 開催概要

日時 2025年4月6日（日）13時30分～15時
場所 ホルトホール大分

国際奉仕部門 部門長 竹内 孝夫会員(別府東)

2. 部門方針

◎部門スローガン 不変と変化～変えない想い
変わらなければならない時代

◎部門方針

- ①国際交流、姉妹クラブ締結希望クラブのマッチング業務
- ②現在交流をしているが停滞しているクラブへのサポート業務
- ③他部門と連携をして補助金活動を希望するクラブサポート業務
- ④姉妹地区(3523 地区) 来日時アテンド業務
- ⑤新たな国際奉仕部門としての活動展開を確立する

3. 発表内容

- ①構成メンバー
- ②各担当エリア
- ③地区国際交流状況・各施策目標・予定
- ④姉妹クラブ実施事例
- ⑤グローバル補助金について
- ⑥各クラブ国際奉仕委員へのお願い

4. 各クラブ国際奉仕委員へのお願いについて

- ①小山 PG (大分臨海)
「国際 RC なんだから国際奉仕をしましょう」
- ②2026年6月13日～6月17日 RI 国際大会(台湾・台北)について
藤田ガバナーは 1,000 人大会を目指します。
奮って参加して下さいとの事！
「友好クラブ」という表現は廃止され「姉妹クラブ」にまとまる方向に。

以上

米 山 記 念 奨 学 部 門

報告者：渋谷 裕太郎

2025-26 年度の特徴

- ①クラブ米山委員会の活性化を行います。
目的：世話クラブの拡大
→対面型のセミナーを実施します。
(夏季セミナー、カウンセラー報告会のオープン化)。米山奨学事業の学びなおしの場となります。

②米山学友会の再活性化

目的：組織の再立ち上げ

→他地区学友会に学ぶ機会。九州の他地区の学友会と共同の活動の場。学友会の活動の在り方の再検討を行い、学友と奨学生の交流の場とします。

③2720 地区米山記念奨学会の一体化

目的：大分と熊本の一体化。

→コロナ禍以降、大分と熊本の交流が減り、別地区のようになっていきます。積極的に交流し、また学友奨学生交流会を定例化します。

ロ ー タ リ ー 財 団 部 門

報告者：三股正幸

【次年度地区目標】

- ・年次基金 一人当たり 150 ドル以上
- ・ポリオプラス 一人当たり 30 ドル以上
- ・寄付ゼロクラブを引き続き無くす
- ・恒久基金や冠名基金の推進(地区で目標 2 名)
- ・ポールハリスソサエティ (PHS) メンバーの増員(地区で目標 30 名)
- ・ポリオプラスソサエティ (PPS) メンバーの増員(地区で目標 50 名)
- ・平和フェローシップの活動推進

【次年度地区補助金事業】

地区との MOU (覚書)→受給計画書の提出(本年 3 月末まで)→地区補助金の申請(本年 5 月末まで)→地区補助金事業の実施(来年 3 月 15 日までに実施)

【ポリオ根絶に向けて】

2023 年 1 月から 8 月までの間にパキスタンで 5 名、アフガニスタンで 2 名のポリオ患者が発生中。ポリオ根絶のためにあと 15 億ドルを要すると見込まれるため、如何にして寄付を進めていくかが重要であり、以下の実施を広めて欲しい。

- ・ポリオプラスソサエティ(年間 100 ドルをポリオプラス基金へ寄付)の推進を
- ・ロータリーカードの普及促進を
※ オリコマスターカード(個人)のうちスタンダードタイプであれば年会費は無料であり、利用額の 0.3 %がポリオ根絶支援金に充てられる。

夜の例会（4月18日）

